



スポーツ施設の管理運営状況について（報告）

- ① 総合体育館照明LED化ESCO事業の実施について
- ② 総合体育館レストラン「ふれーる」のオープンについて
- ③ 人工芝から発生するマイクロプラスチック流出抑制対策実施状況
- ④ 大谷戸公園キャンプ練習場の見直し状況

1 現状

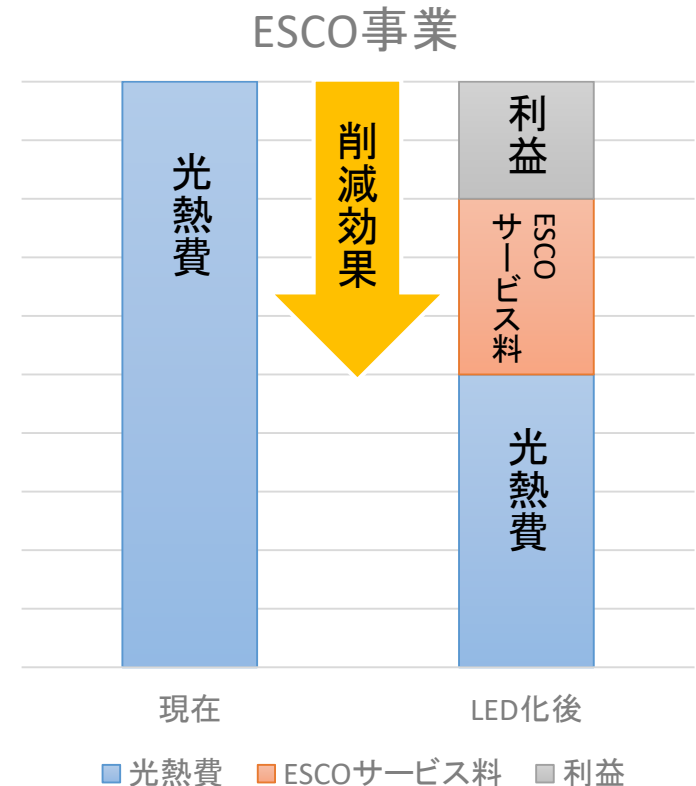
- ① 多摩市立総合体育館に設置される全照明 1, 129台の内、メインアリーナである第1スポーツホールをはじめ、702台の照明はLED化されていない現状にある。
- ② 総合体育館は平成24・25年度に実施した大規模改修時には高天井のスポーツ対応LED照明が普及していなかったことなどから、多くの照明がLED化されていない状況にある。

2 事業目的・事業概要

- ① 多摩市立総合体育館における省エネルギー化を推進し、電力使用量を削減するとともに、二酸化炭素排出量削減による脱炭素社会の実現に貢献するため、既設照明器具のうちLED化未実施のものについてESCO事業によりLED化を行う。
- ② 民間事業者のノウハウと資金力等を活かし、初期導入費用を平準化し財政負担の軽減を図るとともに、経済的かつ効果的に事業を実施するために、ESCO事業期間を13年間とするシェアード・セイビングス（民間資金活用型）として実施する。
- ③ 事業期間は令和6年度より13年間で、令和5年度は事業者の選定及びESCO事業開始のための準備業務を行う予定。

3 ESCO事業とは

- ① ESCO事業とは省エネルギーに関する包括的なサービスを提供する事業で、ESCOとは「Energy Service Company」の略。
- ② 光熱費、消費エネルギー、二酸化炭素排出量削減を目的として、LED化の設計、施工、計測検証、維持管理などを一体とした包括的な委託契約を事業者と締結して実現する。
- ③ 単にLED化するだけでなく、削減効果の計測検証や維持管理などを包括的に委託することが出来る。
- ④ ESCOサービス料は13年間支払いを行う。毎年のESCOサービス料は、LED化による光熱費削減効果額の範囲内とすることで、新たな財政負担が必要無い。





②総合体育館レストラン「ぶれーる」のオープンについて

多摩市立総合体育館のレストランについては、令和5年4月18日から社会福祉法人正夢の会「コラボたまワークセンターつくし」の運営により新規開店しました。

1 経過等

- ① 総合体育館レストランは施設を管理運営する指定管理者が自主事業として運営を行うこととなっています。
- ② 令和元年度に指定管理者選定を行った定管理者候補者選定委員会より、「総合体育館レストランコーナーの有効活用については、一定の提案があったものの十分と言える内容ではない」との報告書を受けるなど、運営状況に課題がありました。
- ③ 指定管理者、スポーツ振興課及び市内福祉団体によるレストラン運営に関する意見交換実施などを経て、多摩市永山で40年以上つづく、障がい者の通所施設である社会福祉法人正夢の会「コラボたまワークセンターつくし」が運営を行うこととなりました。

2 レストラン「ぶれーる」概要

名称：レストラン「ぶれーる」

※「ぶれーる」とはフランス語で「つくし」を意味する言葉から名前を付けられました。

営業時間：ランチ11時～14時30分・カフェ11時～18時（ラストオーダー17時30分）

休業日：毎週月曜





③人工芝から発生するMP s 流出抑制対策実施状況（前回報告概要）

※本資料ではマイクロプラスチックを「MP s」と表記しています。

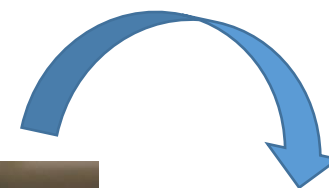
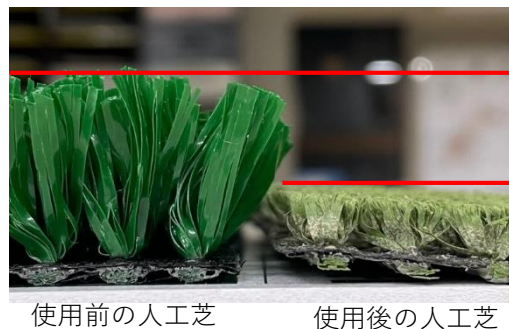
テニスコートの人工芝から発生するマイクロプラスチックの流出を抑制するため、企業との共同実証実験を開始しています。

1 マイクロプラスチック問題とは

- ① プラスチック消費量・流出量が増加し、河川・海洋に流出することで大きな環境問題となっている。
- ② マイクロプラスチックとは、5 mm未満のプラスチックのことをいう。人工的に作り出されたプラスチックは自然界で分解されることはなく、途方もない年月をかけて海をさまようことになり、自然環境に不可逆な影響を及ぼす懸念がある。

2 スポーツ用人工芝から発生するマイクロプラスチック

- ① テニスコートの人工芝は紫外線等による劣化やプレーヤーの動きによる摩擦で徐々に削れてしまう。
- ② テニスコートにおけるマイクロプラスチック対策は業界においても研究段階であり、ガイドラインも確立していない状況。



テニスコートから発生したマイクロプラスチック



3 取組状況概要

環境問題に対応したスポーツ施設運営を行うため、人工芝製造メーカー各社と個別に共同して対策の実証実験を実施しつつ多摩市としての最善の手法を検討している。



- ① 住友ゴム工業は奈良原公園庭球場に設置された人工芝の製造企業で、同庭球場で令和4年6月より実証実験を開始。
- ② 側溝にフィルター等を設置してマイクロプラスチックの捕捉状況等を調査しています。

側溝フィルター



排水溝内にフィルターを設置。降雨後にMPs捕捉を確認できた。

外囲い(不織布)



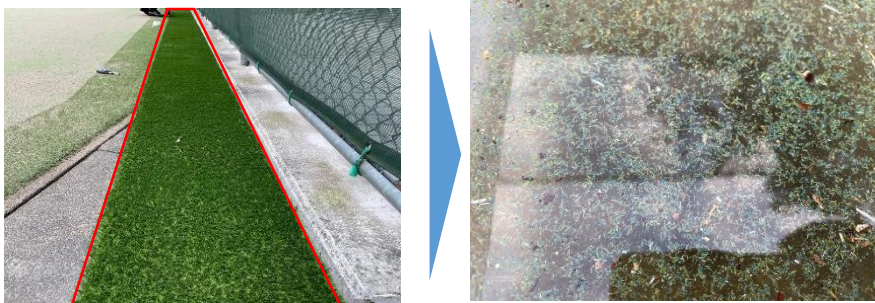
不織布シートをフェンス下部に設置。捕捉量は少なく僅かであった。

空中飛散状況調査



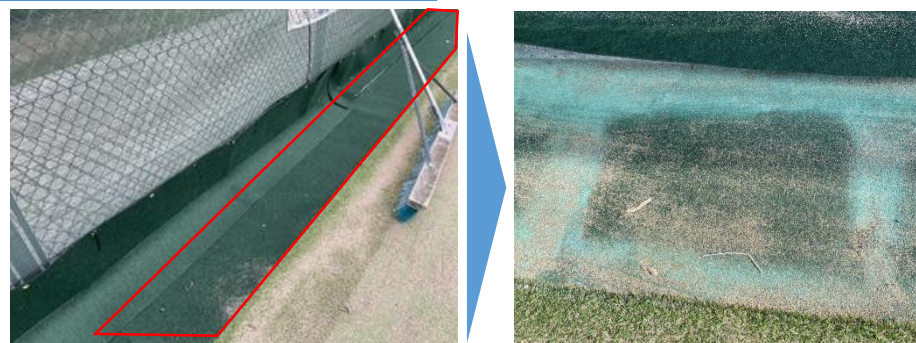
壁面に粘着性の不織布を設置し、MPsの空中飛散量を調査。マイクロプラスチックの空中飛散は確認されていない。

側溝カバー(人工芝)



人工芝及び不織布シートを側溝蓋の上にカバーとして設置。不織布は表面の側溝蓋の枠型にMPsの付着を確認。人工芝は一部撤去し水洗いしたところMPs捕捉を確認。いずれもカバー設置した状態で捕捉したMPsのみを取り出すことが出来ないため、MPs処分のためには数年～10年でカバー含めて撤去処分と再設置が必要になる。

側溝カバー(不織布)





【集水桝サンドフィルター】

【排水溝サンドフィルター】

砂をろ過材としてMPsを捕捉するフィルター等を集水桝及び排水溝内に設置。



【側溝フィルター】

これまで2連で設置していた金物フィルターを4連に増設変更。



【立体型フィルター】

集水桝への落ち葉等異物流入防止のため設置。





DAIKYA 大嘉産業株式会社

- ① 大嘉産業株式会社は多摩東公園庭球場などに設置された人工芝の製造企業で、多摩東公園庭球場で10月より実証実験を開始。
- ② 環境に配慮した天然素材をフィルター材として使用。

側溝・集水桝蓋フィルター

U字溝のグレーチング蓋及び集水桝蓋の裏側にヤシ繊維素材のマットをフィルター材として設置。



側溝内部フィルター

U字溝内部にヤシ繊維マットによるフィルターを設置。



実証実験開始から短期間ではあるがフィルター材にMPsの付着は確認。今後、効果や課題の確認を行っていく。

側溝底部フィルター

U字溝内の底部にヤシ繊維素材のマットをフィルター材として設置。



集水桝内フィルター

集水桝側面にフィルター設置。集水桝には写真掲載の他にもう1種類の別フィルターも設置している。

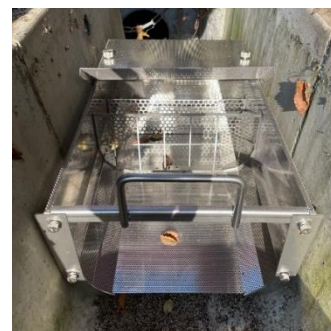


コート端部フィルター

コートの末端部にヤシ繊維素材のマットをフィルター材を挟み込んで設置



SJC 積水樹脂株式会社

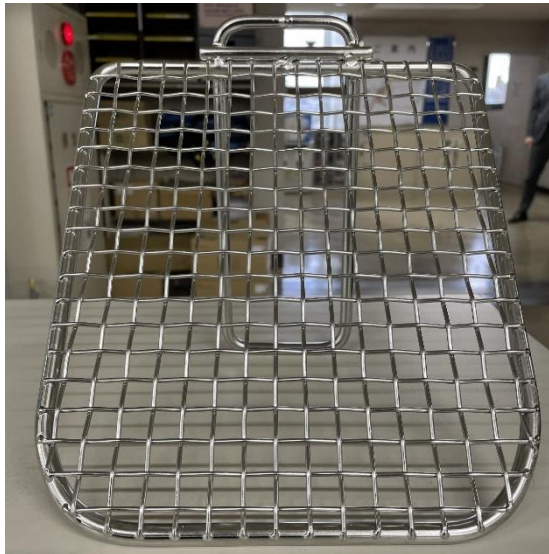


- 積水樹脂株式会社が製品化している「MPフィルターGT」を多摩東公園庭球場で10月よりテスト設置。
- 構造物内にMPs付着を確認

市民協働の概要

- ① マイクロプラスチックを補足するためのフィルターは定期的な交換作業が必要であることから、当該交換作業をテニスコートを利用いただいている地域テニスクラブと協働して実施する。
- ② 令和5年5月より貝取北公園庭球場・連光寺公園庭球場の2か所で実施する。
- ③ 協力いただくテニス団体の施設利用時間において、側溝に設置されたマイクロプラスチック捕捉用不織布フィルターの交換作業を実施いただく。
- ④ 令和5年度については月1回実施。令和6年度以降はMPsの発生状況を見てフィルター交換回数が増加していくことが考えられる。
- ⑤ 多様な関係者との協力により環境に配慮したスポーツ施設運営を行うとともに、幅広く市民の皆様の環境に対する意識醸成を図る機会としていきたい。

金物のフィルター土台



不織布取付後



降雨後にMPsが付着、交換





④大谷戸公園キャンプ練習場の運用見直し状況

1 利用料金改定等の進捗状況

- ① 令和5年第1回定例議会において、利用料金の改定及びソロキャンプを可能とする条例改正が行われ改正条例が公布されました。令和5年7月1日に施行されます。
- ② 条例に規定される料金は上限額のため、上限額範囲内で指定管理者と協議し、料金決定を行う予定です。

利用	現在料金	改定案料金	差額
宿泊	520円	940円	+420円
日帰り	210円	310円	+100円

2 管理人配置の見直しによる受付期間拡大検討

- ① 現在、管理人は設予約があった日のみ配置しており、配置シフトは1週間前に確定する必要があるため、予約受付終了が1週間前になっている。
- ② 令和4年4～12月の土曜・日曜・祝日は約90%の日数で施設予約があり、管理人を配置した実績がある。

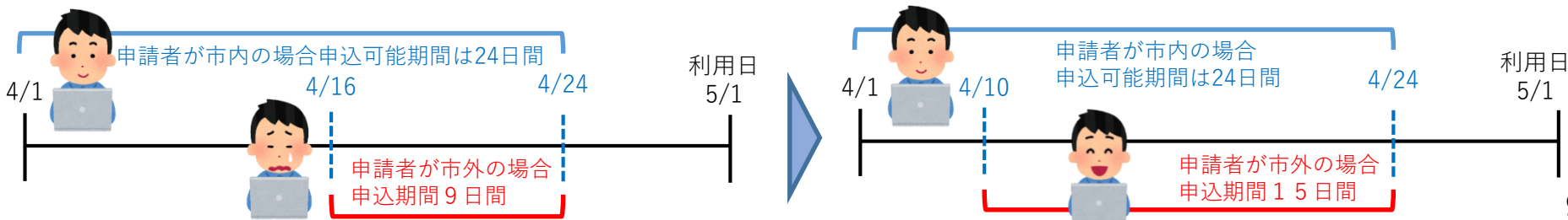
【令和4年4月～12月の管理人配置日数】

曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
日数	36	38	36	35	37	39	39	11
配置日数	18	10	14	12	17	35	36	10
率	50.0%	26.3%	38.9%	34.3%	45.9%	89.7%	92.3%	90.9%

受付可能期間を拡大し、利便性・利用率を向上させるため、利用の見込める時期（例：4月～12月）の土日祝日は予約の有無に関わらず管理人配置を行い、直前まで予約可能とすることを検討中です。

3 市外利用者の受付期間拡大検討

- ① 現在の予約受付開始時期は、市内在住・在学・在勤者（市内利用者）は利用前月1日から、その他の利用者（市外利用者）は前月16日からとなっている。受付終了は利用日1週間前のため、特に市外利用者は予約受付期間が短く、受付期間拡大を求める意見がある。一方、市内利用者で予約が埋まってしまう状況には無い。
- ② 市外利用の受付期間開始を利用前月16日から利用前月10日に変更することでの受付期間を拡大を検討中です。



4 年末年始営業拡大

- ① 現在の年末年始営業日は市役所の年末年始休業日に準じた内容となっています。
- ② 年末年始はキャンプ利用が見込める時期であることから利用可能日拡大を検討中です。
- ③ 12月31日・1月1日を休業とし、他の日は営業を検討しています。

	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4
現状	日帰のみ	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
変更後	営業	営業	営業	日帰のみ	休業	休業	営業	営業	営業

5 貸出用備品の更新

- ① 利用者サービスの向上及び施設の収益力向上を図るため、貸出備品を更新し、充実させる。
- ② 初心者でも使える備品、気軽に使える備品について貸出を行う。
- ③ 貸出予定の新規備品は、テント、タープ、バーベキューグリル、テーブル、椅子、カトラリーなど。
- ④ 利用料金改定とあわせ7月1日のサービス開始を予定。



6 初心者向けのキャンプ教室を開催

- ① 令和5年秋にキャンプを始めてみたい市民を対象としたキャンプ教室の開催を検討中です。
- ② キャンプの楽しみを知ってもらうとともに、大谷戸公園キャンプ練習場を多くの方に知っていただく機会としていきます。

7 広報活動の強化

- ① 6月20日発行のたま広報1面・2面で大谷戸公園キャンプ練習場の紹介記事を掲載します。
- ② 広報掲載とともに施設紹介動画・写真などをYoutube等SNSで発信していく。
- ③ 広報活動の強化によりアウトドアが身近に出来るまちであることを知っていただき、市民にアウトドアを楽しんでいただくこと。同時に施設稼働率の向上と収入増加により、更なるサービス向上につなげていくことを目標にしていく。